

エビアマモ

Phyllospadix japonicus Makino
アマモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧 II類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

産地が局限されており、存続の基盤が脆弱である。

分布

本州（茨城県、新潟県以南）、九州に分布。県内では福井市での記録がある。

種の特徴

海産の沈水多年生草本。短い根を多く出し、岩に固着する。長さ 25～55 cm、幅 2～2.5 cm の線形の葉を密生する。葉は枯死した後も黒褐色の纖維状に残る。3月頃、地下茎から肉穗花序を出す。雌雄異株。

生育を脅かす要因

海岸開発、改修工事。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市町別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○

オオアマモ

Zostera asiatica Miki
アマモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧 II類

選定理由

産地が局限されており、存続の基盤が脆弱である。

分布

北海道に分布。県内で越前町での記録がある。

種の特徴

海底の砂地に生える多年草。タチアマモに似ているが、水中茎の上部にも花をつける。

生育を脅かす要因

海岸開発、改修工事。

参考文献

市町別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○								

スゲアマモ

Zostera caespitosa Miki
アマモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

産地が局限されており、存続の基盤が脆弱である。

分布

北海道～本州（宮城県以北の太平洋岸、日本海海岸全域）に分布。県内では坂井市での記録がある。

種の特徴

海底の砂泥に生える多年草。アマモに似るが根茎の節間が伸びず株状になる。葉は長さ 50～140 cm、幅 3～7 mm で束生する。

生育を脅かす要因

海岸開発、改修工事。

参考文献

市町別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○